

## 川崎市役所新本庁舎基本・実施設計業務委託 公募型プロポーザルの結果について

川崎市では、川崎市役所新本庁舎基本・実施設計業務委託に係る設計者選定を公募型プロポーザル方式にて実施し、次のとおり設計者を特定しました。

### 1 委託件名

川崎市役所新本庁舎基本・実施設計業務委託

### 2 選定委員会の開催日

平成28年9月19日（月）

### 3 選定委員会の概要

(1)の委員からなる選定委員会において、(2)の各課題に関して事業者から提出された技術提案書をもとに、評価が行われました。

#### (1) 「川崎市本庁舎等設計事業者選定委員会」の委員構成

	氏名	分野	役職等
委員長	大西 隆	都市計画	豊橋技術科学大学 学長
副委員長	目黒 公郎	都市防災工学	東京大学生産技術研究所 教授
副委員長	有賀 隆	都市デザイン	早稲田大学理工学術院 教授
委員	木下 庸子	建築設計	工学院大学建築学部 教授
委員	武田 良知	市職員	川崎市総務企画局総務部長

#### (2) 課題

- ア 庁舎の安全性及び災害時の業務継続性の確保について
- イ 機能的かつ効率的な執務空間について
- ウ デザインについて
- エ 環境配慮について
- オ 発注者との合意形成のプロセスを含む作業スケジュール管理の考え方について
- カ 業務実施方針

### 4 特定結果

参加業者 (五十音順)	株式会社 梓設計	
	株式会社 石本建築事務所 横浜事務所	
	株式会社 久米設計	最優秀者
	株式会社 佐藤総合計画	
	株式会社 三菱地所設計	優秀者

## 5 最優秀者の特定理由

最優秀者の提案は、庁舎の安全性、災害時の業務継続性、機能的かつ効率的な執務空間、意匠及び景観形成の考え方、敷地屋外空間の市民利用及び街並み形成に対する方針、環境配慮、設計スケジュール管理の考え方、業務実施方針などについて、きめ細かく配慮された内容となっていました。

特に、アトリウムの開放性を確保した上で、敷地東西北方向に対する圧迫感の軽減や回遊性にも配慮した超高層棟の低層部のデザインを工夫している点は、高く評価されました。また、超高層棟において、北側シングルコアによる合理的な執務空間の考え方を提案するとともに、行政・議会・市民利用のそれぞれの視点からの利用のしやすさを踏まえた、機能的なフロアレイアウトを提案している点についても、高く評価されました。

優秀者の提案は、京急通りからの動線に対し、アトリウム西側が閉鎖的になっており、また、超高層棟の低層部における敷地東西北方向への圧迫感の軽減についても課題を残していますが、その一方で、基本計画の施設配置イメージに示された低層棟内部空間の復元範囲を縮小せずに、低層棟前面の広場空間を拡大させている点や、低層棟の外壁の復元範囲を広げている点などが評価されました。また、配置予定技術者の実績として、大規模超高層事務所建築物と歴史的建築物の保存・復元を組み合わせたプロジェクトについての経験が豊富である点についても、評価されました。

## 6 技術提案書の公開

最優秀者及び優秀者に特定された者の技術提案書については、川崎市ホームページ (<http://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000080238.html>) で公開します。

また、平成 28 年 10 月 7 日（金）17 時までは、川崎市総務企画局本庁舎等建替準備室（川崎市役所第 3 庁舎 13 階）で閲覧することもできます。

## 7 今後のスケジュール（最短の場合）

平成 28～29 年度	現本庁舎解体工事（地上部分のみ）
平成 28～30 年度	新本庁舎基本・実施設計
平成 31～34 年度	新本庁舎建築工事（現本庁舎地下部分の解体を含む。）
平成 34 年度	新本庁舎完成
平成 35 年度	第 2 庁舎解体工事・跡地広場完成

## 8 問合せ先

部署名：川崎市総務企画局本庁舎等建替準備室  
電話：044-200-0281